

よせがき教科書出版のための HowTo コミュニティサイト「yosemite」の開発 知恵を集めて教科書を作ろう

1. 背景

開発代表者の予備校・塾・短大講師という経験から、学習上大切なこととして、概念レベルの話と身近な感覚をどこまで結び付けられるかという考えがあった。しかし、これを授業で教えることは簡単ではない。なぜなら、概念とリアルを結び付ける力は、その子が行動や観察によって培った総合的判断によって生まれるものだからである。

この問題に対して、コンピュータやインターネットができることを考えた結果の1つが「行動を通じて物事の意味を学べるような学習環境」を構築することである。具体的には、行動のHowToについて考え、まとめることができる事典のようなものを作っていく運動をするということである。

2. 目的

普通、事典というのは、「～とは何か」に答える形に作られているが、私達の提唱するのは「～はどのようにすればいいのか」に答える辞典である。この新しい辞典によれば、例えば「楽器」の意味は「音楽を演奏するために用いる器具。弦楽器・管楽器・打楽器・鍵盤楽器などの総称」ではなく、「ギターで弾き語りする方法」や「ショパンをピアノで弾く方法」の中で解消されることになる。さらに、この事典は、ただ読まれるだけでなく、読者の体験を述べることも誘導するので、主体的な取り組みへのインセンティブを与える。つまり、読者が同時に執筆者となるという、なめらかな関係を構築する。

こうした人間の知的活動のコラボレーションを実現するため、私達はよせがき執筆というテキスト作成作法を提唱している。今回はHowToを軸にした教科書"よせがき教科書"を作り、新しい知の文法作りの足がかりとすることを目標としている。

3. 開発の内容

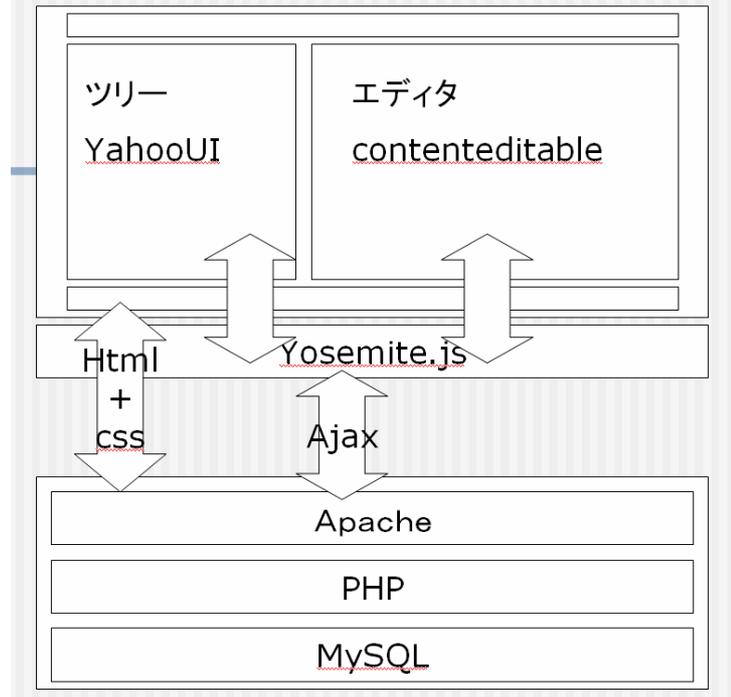
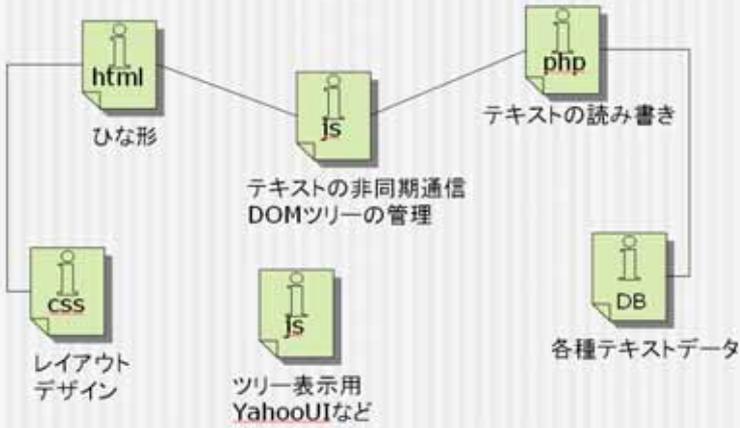
1) 動作環境

Internet Explorer 6

2) 構成

プログラムファイルの構成と、データ構造は以下の図の通りである。

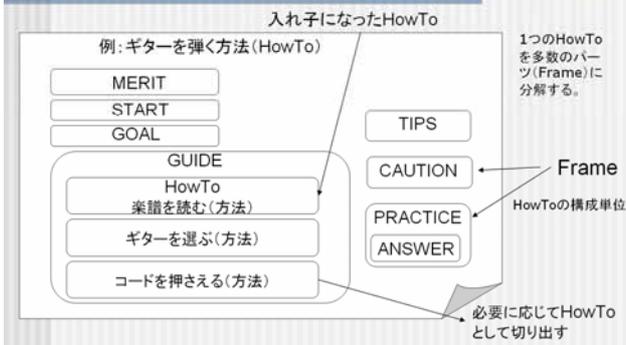
主なファイルの構成



3) 主な機能

- 3-1) タグ付けされた文章の wysiwyg 編集機能
- 3-2) 入れ子になった文章の編集機能
- 3-3) 見出しのツリー表示機能
- 3-4) 画像、音声、映像などメディアファイルの挿入機能
- 3-5) 新規作成画面&ルート HowTo 表示機能
- 3-6) HowTo の検索機能

よせがき執筆による教科書作成例



4．従来の技術（または機能）との相違

ブラウザ上で作動し、ネットワーク越しにさまざまな人で文章を書くソフトウェアとしては、wiki が有名である。wiki の場合には文章を読む画面とは別に、編集をするための画面を必要とし、しかも記述の際には wiki 記法と呼ばれる表記で行わなければならない。その点 yosemite では、一般のワープロソフトのように見たままにかける、いわゆる wysiwyg が可能であり、文章作成のための障壁を下げることができる。

また、文章自体を構造化して、分担して書くという執筆方法は、yosemiteによるタグ付けされた文章の編集機能により可能となったものである。

5．期待される効果

yosemiteの真骨頂は、HowToを軸とする議論空間の創出にある。質問してそれに答えるという、従来の質問サイトのような単発のコミュニケーションではない、複合的なコミュニケーションを作り出せるのではないかと期待している。このよせがき教科書執筆では、データの基本単位をHowToに絞り込んでいるため、いくつかのHowToを束ねて新しいHowToを作り出したり、難度の高いHowToはさらに小さいHowToへブレイクダウンして考えたりすることができる。また、ワンFrame - マルチコンテンツのデータ構造は、そもそも一意で定まるわけのない個々人の身体感覚に基づくHowToを吸収するバッファとなり、逆にそこからさまざまな物語性をつむぎ出すことが可能となる。

6．普及（または活用）の見通し

共同体を超え、前提条件の異なる個々人を縦横無尽につなぐネットワークでのコミュニケーションは、新しい可能性があるが、大変難しいものでもある。その点、よせがき執筆は、HowToを通じて共通の議論土台を作り、そのもとでお互いの違いを明確にすることが可能となるので、相手の立場を理解しやすいといえる。私達は、参加して楽しいと思える成熟したネット社会を形成するための、1つの解法としてよせがき執筆をとらえている。

7．開発者名（所属）

吉江 弘一（NPO 法人 FTEXT）

（参考）開発者URL
<http://www.ftext.org/>